



登下校の安全のために

校長 関根 弘

4月18日の児童朝会で、本校の学童擁護員と子ども見守り隊・スクールガードの方々の紹介をしました。この方々をはじめ、保護者の皆様、地域の皆様には、子供たちの安全に日々関わっていただいていることに感謝しております。

さて、今回紹介した方々がどのような活動をされているのか改めてご紹介させていただきます。



○学童擁護員

学区の危険と思われる場所(車の往来の多い横断歩道等)で、登下校時の児童に対して交通安全指導と誘導を行っています。(板橋区から配属されてきます。)

○子ども見守り隊

散歩や買い物等で出かける時間を児童の登下校時に合わせて行い、声かけなどで、児童の安全を見守っていただいています。「できるときにできることをする」を基本にご協力いただいています。

(本校では、毎日、登校時に付き添っていただいている見守り隊の方もおります。)

○スクールガード

見守り隊の活動からさらに踏み込んで、登下校時の児童の安全確保のために、防犯パトロール等も行い、犯罪に巻き込まれることを抑止する活動も行っていただいています。

子ども見守り隊とスクールガードにつきましても、一年に一度、学校からのお便りで登録の募集をさせていただいておりますが、お手伝いいただける方は、随時受け付けております。登録していただける方は、学校にご連絡ください。

<学童擁護員増員>

学童擁護員の配置場所及び人数は、学校の要望によって板橋区が判断し決定しています。昨年度までは、「タニタの交差点」と「学校南門付近の交差点」において誘導を行っていました。

しかし、この2ヶ所に加え、「けやきの公園付近」の横断が危険であるため、今までに、警察や板橋区に改善を求めたり、学童擁護員の増員の要望をしたりして参りましたが、その要望がなかなか通りませんでした。

この件に関して、iCS委員会でも協議し、協議内容を、学校からもiCS委員の方からも板橋区教育委員会や警察署に改善の要望をして参りました。

その結果、皆様のご協力のおかげで、今年度より、「けやきの公園付近」にも学童擁護員を配置していただけることとなりました。

さらに、警察にも動いていただき、横断歩道の標識も今までのものより大きくなり、運転者からより見やすいものとなりました。



<自分で自分の命を守る意識を高めるために>

子供たちにも登下校や遊びに行くときに、

- ・道路のはじを歩く
- ・大勢の友達と横に広がって歩かない
- ・遊びながら歩かない
- ・道路を横断するときは、自分の目で左右をよく確認して渡る
- など

自分で自分の命を守るように全校朝会でも、学年でも、学級でも指導をしています。

各ご家庭におかれましても、「自分の命は自分で守る」という観点で、できるだけ具体的に道路での歩き方、自転車の乗り方について、お話していただけますようお願いいたします。